

(別紙様式2)

令和2年度の目標及びその他達成に向けた活動の点検・評価

都道府県名： 山梨県
農業委員会名： 都留市農業委員会

I 農業委員会の状況(令和3年3月31日現在)

1 農業の概要

単位:ha

	田	畑	畑			計
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	228.0	50.0	50.0			278.0
経営耕地面積	71.0	40.0	38.0	2.0		111.0
遊休農地面積	73.6	90.1	90.1			163.7
農地台帳面積	356.4	482.9	482.9			839.3

※1 耕地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※2 経営耕地面積は、農林業センサスに基づいて記入

※3 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

	農家数(戸)
総農家数	1,012
自給的農家数	833
販売農家数	179
主業農家数	16
準主業農家数	26
副業的農家数	137

※ 農林業センサスに基づいて記入。

	農業者数(人)
農業就業者数	218
女性	100
40代以下	19

※ 農林業センサスに基づいて記入。

	経営数(経営)
認定農業者	9
基本構想水準到達者	13
認定新規就農者	2
農業参入法人	5
集落営農経営	
特定農業団体	
集落営農組織	

※農業委員会調べ

2 農業委員会の現在の体制

旧制度に基づく農業委員会

任期満了年月日 R 年 月 日

	選挙委員		選任委員				計	合計
	定数	実数	農協推薦	共済推薦	土地改良推薦	議会推薦		
農業委員数							0	0
認定農業者	—						0	0
女性	—						0	0
40代以下	—						0	0

新制度に基づく農業委員会

任期満了年月日 R 5年 7月 28日

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数	11	11
認定農業者	—	1
認定農業者に準ずる者	—	2
女性	—	1
40代以下	—	
中立委員	—	1

	定数	実数	地区数
農地利用最適化推進委員	9	9	9

*現在の体制を記載することとし、年度途中で切り替わった場合はいずれも記載

II 担い手への農地の利用集積・集約化

1 現状及び課題

現 状 (令和2年3月現在)	管内の農地面積	これまでの集積面積	集積率
	297.0 ha	28.8 ha	9.7 %
課 題	農業従事者の減少・高齢化等が耕作放棄地の増加の一因であるとともに、担い手が耕作する農地が分散し、作業効率の低下を招いているため、利用集積等対策を図る必要がある。		

※1 管内の農地面積は、活動計画に記載した耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※2 これまでの集積面積は、活動計画に記載した担い手(認定農業者及び農業委員会法施行規則第10条で定める者)へ利用集積されている農地の総面積を記入

2 令和2年度の目標及び実績

集積目標 ①	集積実績 ②	(うち、新規実績)	達成状況(②/①×100)
29.6 ha	27.6 ha	1.0 ha	93.2 %

※1 集積目標は、活動計画に記載した集積面積を記入

※2 集積実績は、年度末時点で担い手へ利用集積されている農地の総面積を記入

※3 新規実績は、集積実績のうち1年間に新規集積面積(非担い手が自作又は利用していた農地のうち、担い手に対して権利の設定・移転がされた農地)をどの程度増加させたかを記入

3 目標の達成に向けた活動

活動計画	7月から12月 担い手農家等への利用集積制度の周知活動 通年 農業者等への農業経営基盤強化法による利用権設定制度の周知活動
活動実績	7月から12月に担い手農家等への利用集積制度の周知活動を実施した。 通年、農業者等への農業経営基盤強化法による利用権設定制度の周知活動を実施した。

※ 活動実績は、目標の達成のために何月に何日何を行ったのか等詳細かつ具体的に記入

4 目標及び活動に対する評価

目標に対する評価	実態に即した形で目標を設置し直す。
活動に対する評価	周知計画は計画のとおり実施、今後も農地の集約化に向けた活動を継続的に行っていく必要がある。

Ⅲ 新たに農業経営を営もうとする者の参入促進

1 現状及び課題

新規参入の状況	29年度新規参入者数	30年度新規参入者数	R1年度新規参入者数
	2 経営体	1 経営体	2 経営体
	29年度新規参入者数が取得した農地面積	30年度新規参入者数が取得した農地面積	R1年度新規参入者数が取得した農地面積
	1.5 ha	0.8 ha	0.9 ha
課題	都留市の農地状況では、農業収入だけで生活できない。		

※1 新規参入者数は、活動計画に記載した過去3年の農地の権利移動を伴う新たな新規参入者数を記入し、法人雇用や親元就農は含まない。

※2 新規参入者が取得した農地面積は、上段で記入した経営体が取得した農地面積の合計を記入

2 令和2年度の目標及び実績

参入目標①	参入実績②	達成状況(②/①×100)
2 経営体	1 経営体	50.0 %
参入目標面積③	参入実績面積④	達成状況(④/③×100)
1.2 ha	1.0 ha	83.3 %

※1 参入目標及び参入目標面積は、活動計画に記載した参入者数及び農地面積を記入

※2 参入実績は、1年間に新たに参入した新規参入者数を記入

※3 参入実績面積は、上記で記入した経営体が取得した農地面積の合計を記入

3 目標の達成に向けた活動

活動計画	昨年度に引続き、道の駅つる生産者組合等を利用し、新規参入に努める。
活動実績	農産物直売所に出荷等を行っている「道の駅つる生産者組合」を利用し、新規の参入促進に努めた。

※ 活動実績は、目標の達成のために、何月に何日何を行ったのか等詳細かつ具体的に記入

4 目標及び活動に対する評価

目標に対する評価	生産者組合への参入促進等に努めたが、参入実績(面積)は目標に達しなかった。
活動に対する評価	農業者等への意向調査や啓発により、活動を継続し、より一層の参入を図る必要がある。

IV 遊休農地に関する措置に関する評価

1 現状及び課題

現 状 (令和2年3月現在)	管内の農地面積(A)	遊休農地面積(B)	割合(B/A×100)
	464.5 ha	167.5 ha	36.1 %
課 題	高齢化と後継者不足により、新たに耕作放棄地が拡大している状況にあるが、耕作放棄地の拡大の弊害、発生防止の呼びかけ、所有者に対する指導を行うとともに、担い手への利用集積の推進や、一時的な解消とならないよう導入作物の提案指		

※1 管内の農地面積は、活動計画に記載した耕地及び作付面積統計における耕地面積と農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した同法第32条第1項第1号の遊休農地の合計面積を記入

※2 遊休農地面積は、活動計画に記載した農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

2 令和2年度の目標及び実績

解消目標①	解消実績②	達成状況(②/①×100)
5.7 ha	9.3 ha	163.2 %

※1 解消目標は、活動計画に記載した解消面積を記入

※2 解消実績は、当該年度末時点の遊休農地の解消面積を記入

3 2の目標の達成に向けた活動

活動計画	措置の内容	調査員数(実数)	調査実施時期	調査結果取りまとめ時期	
	農地の利用状況調査		20人	8月～11月	12月～1月
		調査方法	高齢化と後継者不足により、新たに遊休農地が拡大している状況にあるが、遊休農地の拡大の弊害、発生防止の呼びかけ、所有者に対する指導を行う		
	農地の利用意向調査	調査実施時期: 1月～2月			
その他の活動	特になし				
活動実績	農地の利用状況調査	調査員数(実数)	調査実施時期	調査結果取りまとめ時期	
		20人	5月～11月	12月～1月	
	農地の利用意向調査	調査実施時期	12月～1月	調査結果取りまとめ時期	1月～3月
			第32条第1項第1号	第32条第1項第2号	第33条
		調査数:	105筆	筆	筆
		調査面積:	5.3 ha	ha	ha
その他の活動	特になし				

4 目標及び活動に対する評価

目標に対する評価	農地の利用状況調査により、所有者等への遊休農地解消への理解は進みつつある。
活動に対する評価	農地の利用状況調査により、所有者等への遊休農地解消への理解は進みつつある。今後も利用状況調査を行い、有効利用が図られるよう努めたい。

V 違反転用への適正な対応

1 現状及び課題

現 状 (令和2年3月現在)	管内の農地面積(A)	違反転用面積(B)
		297.0 ha
課 題	耕作放棄地への建設廃材や残土の不法投棄が農地の有効利用を図るうえで課題となるため、違反転用の重点的な監視活動が必要と考える。	

- ※ 管内の農地面積は、活動計画に記載した耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入
- ※ 違反転用面積は、活動計画に記載した管内で農地法第4条第1項又は第5条第1項の規定等に違反して転用されている農地の総面積を記入

2 令和2年度実績

実 績①	増減(B-①)
0.0 ha	0.0 ha

- ※ 実績は、年度末時点の違反転用面積を記入

3 活動計画・実績及び評価

活動計画	通年 一斉調査をはじめ、農地パトロールを中心に農地転用時の現地調査等あらゆる機会を捉えて目視による巡回調査を実施する。
活動実績	9月から11月にかけて、農地の利用状況調査を行ったほか、農地転用時の現地調査等において違反転用の監視に努めた。
活動に対する評価	今後も継続的に粘り強く、巡回調査を行う必要がある。

- ※ 活動実績は、違反転用の解消や早期発見・未然防止のために何月に何日何を行ったのか等詳細かつ具体的に記入

VI 農地法等によりその権限に属された事務に関する点検

1 農地法第3条に基づく許可事務

(1年間の処理件数: 18 件、うち許可 18 件及び不許可 0 件)

点検項目		具体的な内容			
事実関係の確認	実施状況	申請時に記載内容について、各項目を確認している。 申請農地について、現地調査を実施し現況を把握している。			
	是正措置				
総会等での審議	実施状況	議案ごとに審議を実施し、資料及び現地調査の結果等をプロジェクターで投影し、地区担当委員の意見を踏まえ審議を行っている。			
	是正措置				
申請者への審議結果の通知	実施状況	申請者へ総会等での指摘や許可条件等を説明した件数			件
		不許可処分の理由の詳細を説明した件数			件
	是正措置				
審議結果等の公表	実施状況	議事録写しの閲覧により窓口で公表。			
	是正措置				
処理期間	実施状況	標準処理期間	申請書受理から 14 日	処理期間(平均)	14 日
	是正措置				

2 農地転用に関する事務 (意見を付して知事への送付)

(1年間の処理件数: 56 件)

点検項目		具体的な内容			
事実関係の確認	実施状況	申請時に記載内容について、各項目を確認している。 申請農地について、現地調査を実施し現況を把握している。			
	是正措置				
総会等での審議	実施状況	議案ごとに審議を実施し、資料及び現地調査の結果等をプロジェクターで投影し、地区担当委員の意見を踏まえ審議を行っている。			
	是正措置				
審議結果等の公表	実施状況	議事録写しの閲覧により窓口で公表。			
	是正措置				
処理期間	実施状況	標準処理期間	申請書受理から 21 日	処理期間(平均)	21 日
	是正措置				

3 農地所有適格法人からの報告への対応

点検項目	実施状況	
農地所有適格法人からの報告について	管内の農地所有適格法人数	4 法人
	うち報告書提出農地所有適格法人数	3 法人
	うち報告書の督促を行った農地所有適格法人数	法人
	うち督促後に報告書を提出した農地所有適格法人数	法人
	うち報告書を提出しなかった農地所有適格法人	法人
	提出しなかった理由	未提出の1法人については、当該年度に設立され、決算期未到来のため、提出不要である。
	対応方針	
農地所有適格法人の状況について	農地所有適格法人の要件を欠くおそれがあるため農業委員会が必要な措置をとるべきことを勧告した農地所有適格法人数	法人
	対応状況	

4 情報の提供等

点検項目	具体的な内容	
賃借料情報の調査・提供	実施状況	調査対象賃貸借件数 86 件 公表時期 令和 元 年 9 月
		情報の提供方法: 市ホームページにて公表。
	是正措置	
農地の権利移動等の状況把握	実施状況	調査対象権利移動等件数 件 取りまとめ時期 令和 2 年 4 月
		情報の提供方法: 窓口縦覧
	是正措置	
農地台帳の整備	実施状況	整備対象農地面積 839.3 ha
		データ更新: 通年
		公表: 市の窓口及び全国農地ナビにて公表。
	是正措置	

※その他の事務

上記ⅡからⅥに掲げる事務以外の事務について、次年度の目標及びその達成に向けた活動計画を作成する場合には、それぞれの事務ごとに、上記様式に準じて取りまとめること。

Ⅶ 地域農業者等からの主な要望・意見及び対処内容

農地利用最適化等に関する事務	〈要望・意見〉 特になし
	〈対処内容〉 特になし

農地法等によりその権限に属された事務	〈要望・意見〉 特になし
	〈対処内容〉 特になし

※ II～VIの事務について、活動を通じて地域の農業者等から寄せられた主な意見及び対処方針について記載

Ⅷ 事務の実施状況の公表等

1 総会等の議事録の公表

HPに公表している その他の方法で公表している

農業委員会事務局窓口にて公表。

2 農地等利用最適化推進施策の改善についての意見の提出

意見の提出件数 件

提出先及び提出した意見の概要	「令和3年度山梨県農業行政施策に関する意見書」を県あて提出した。
----------------	----------------------------------

3 活動計画の点検・評価の公表

HPに公表している その他の方法で公表している

農業委員会事務局窓口(書面公表)及び全国農業会議所のHPにて公表している。